

穴埋め問題（問題）

第6章 施設園芸作業

1. 施設園芸作物の特徴

① 花き（花）

日本では（ ）を利用して花の栽培も盛んに行われています。生産額は約（ ）億円に上ります。開花調節して切り花を（ ）しているほか、シクラメン、ラン類、観葉植物などの（ ）、ガーデニング材料としての（ ）生産も行われています。

= 【P81】 =

2. 施設の種類と構造

① 屋根の形

a 両屋根型

屋根の両側に（ ）がある一般的な形で、光が（ ）に入りやすく、野菜や花などの栽培で広く使われています。

b 丸屋根型

屋根が丸い形をしています。断面が円形のパイプを組み合わせた（ ）ハウスが普及しています。（ ）や積雪対策が重要です。

c スリークォータ型

両屋根型の片方の斜面の面積が広いハウスです。広い面を（ ）側にすることで、太陽光が弱い（ ）の光を多く取り入れやすい形をしています。 = 【P84】 =

3. 施設内の装置

① 暖房装置

暖房方法には、温風方式と（ ）方式があります。温風方式は（ ）が簡単なので、多く利用されています。燃料は、（ ）や灯油などが多いです。電気、ガス、木質ペレットを使う暖房装置もあります。（ ）利用やヒートポンプの導入も進んでいます。 = 【P86】 =

4. 換気装置

① 換気の順序

自然換気の順序は、（ ）制御をしている場合、カーテン、（ ）の順に開きます。それでも室内の気温が高い場合は、（ ）を開きます。寒い時期に換気を行う場合、側窓を開けたときに外の（ ）が作物に直接当たらないように、側窓の開け幅を（ ）するか、側面のカーテンを（ ）にします。 = 【P87】 =

5. 温度計の種類と使い方を理解しましょう。

日本では（ ）が使われています。温度計は液の（ ）から数字を見ます。単位は度または（ ）です。アルコール温度計の場合は（ ）を見ます。（ ）温度計の場合は、頂点の高さを見ます。 = 【P89】 =

6. 養液栽培

養液栽培は、（ ）を使わず、水に養分を溶かした（ ）で作物を育てる方法です。養液栽培の様式には、（ ）培地を使う方法と使わない方法があります。固形培地には、ロックウール、（ ）、ピートモス、れきなどがあります。培地を使わない方法は、水耕と根の大部分を空気中に張らせる水気耕（ ）です。 = 【P93】 =